学校番号	213

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	新課程　高等学校　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　クリアー数学Ⅱ　（数研出版） ［新版］高１・高２ スタンダードレベル数学Ⅱ（株式会社リクルート）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅱは、数学ⅠAに比べ学習量が増えるため進度が早くなります。難易度もはるかに高くなります。授業や課題に積極的に取り組むのは当然として、家庭での復習がより一層大切になります。定期考査前にまとめて学習するだけで十分に理解するのは極めて困難です。常日頃から復習し、たくさん問題を解く習慣をつけることをお勧めします。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学を通して筋道を立てて物事を考える力を養い、それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学を通して筋道を立てて物事を考える力を養い、数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式と証明	式と計算 等式･不等式の証明	a:3次式の展開の公式を利用することができる。 b:2次式の展開公式を利用して，3次式の展開公式を導くことができる。 c:因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト
	複素数と方程式	複素数と2次方程式の解	a:複素数，複素数の相等の定義を理解している。 b:複素数の表記を理解し，複素数$a+0i$を実数aと同一視できる。 c:2次方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味･関心を示し，考察しようとする。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト

2学期	図形と方程式	点と直線 円 軌跡と領域	a:数直線上において，2点間の距離，線分の内分点，外分点の座標が求められる。 b:図形の性質を証明する際に，計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 c:点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト
	三角関数	三角関数 加法定理	a:角度の表し方に度数法と弧度法があることを理解している b:弧の長さで角を図る方法として，弧度法を考察することができる。 c:三角比の定義を一般化して，三角関数の定義を考察しようとする。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト
3学期	指数関数と対数関数	指数関数 対数関数	a:指数が整数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を利用した計算をすることができる。 b:指数法則が成り立つように，指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 c:累乗根の性質に興味を示し，具体的に証明しようとする。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト
	微分法と積分法	微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法	a:微分係数の図形的意味を理解している。 b:導関数を表す種々の記号を理解していて，それらを適切に使うことができる。 c: 接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察しようとする。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度